





彦山権現誓言仇討  
 貞婦若くはあまの  
 おまごら末裔と云ふ  
 ありまゆまの一粒毛利釋元の  
 娘はよき金屋源の脚を  
 たるを器一味命と云ふ  
 の毛利家之代  
 えのえ  
 今を来す  
 ありまゆま  
 月夜ふたつ  
 家中の  
 柳と



昔きくはあまの  
 ありまゆま二人あり  
 て柳とあまの  
 ありまゆまといふ  
 とのそ柳妹と  
 若狭のとうらふ  
 柳とまゆまとあまの  
 ありまゆまといふ  
 今を来す  
 ありまゆま  
 とおまごら  
 とのそ柳妹と  
 若狭のとうらふ  
 柳とまゆまとあまの  
 ありまゆまといふ

















つさ捕り

妹おきん

吉岡の妻

あの子の妻

彼が病み

●奥後  
と極色強  
款系極内  
道ある

と人さ

と女

子の

身

工

糸

は

じん



姉おその

▲絶世系

極内通

七より一味女

春陰藤藏

衣川三左門

▲は威あま  
款ハ徹堂流の

糸

と

捕

城

引

由

丸

父

退

と





つきききききき

色とくはくは

姉かその

姉妹の母

△この  
又二味  
かたききき

△おれ  
おれ  
おれ

△おれ  
おれ

△の縁ひと  
おれ  
おれ  
おれ

おれ  
おれ  
おれ  
おれ



及びてき

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

△おれ  
おれ

おれ

妹おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ

おれ



つぎに  
はあどさぐて旅の羽衣  
ととのひを明の月夜を  
たぐとまゆぐれのはあど

六助の母  
六助  
父と母が  
人とあつた  
あつた  
あつた  
あつた



六助の母  
六助  
父と母が  
人とあつた  
あつた  
あつた  
あつた

六助の母  
六助  
父と母が  
人とあつた  
あつた  
あつた  
あつた



六助の母  
六助  
父と母が  
人とあつた  
あつた  
あつた  
あつた















